

2026 年 3 月 26 日

各位

住 所 東京都港区港南二丁目 15 番 3 号
 会 社 名 NEC キャピタルソリューション株式会社
 代 表 者 の 代 表 取 締 役 社 長 菅 沼 正 明
 役 職 氏 名 (コード番号：8793 東証プライム市場)
 問 合 わ せ 先 コミュニケーション部長 是枝 孝彰
 電 話 番 号 03 - 6720 - 8400 (代 表)

「DBJ 環境格付」融資において 格付開始当初から 22 年連続最高ランクを取得

当社は、株式会社日本政策投資銀行（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：
 地下 誠二、以下「DBJ」）が実施する「DBJ 環境格付」融資において、22 年連続で
 「環境への配慮に対する取り組みが特に先進的」という最高ランクの格付を取得いた
 しましたのでお知らせします。

「DBJ 環境格付」融資は、DBJ が開発したスクリーニングシステム（格付システ
 ム）により企業の環境経営度を評点化し、優れた企業を選定するという世界で初めて
 の融資メニューです。

今回の評価では特に以下の点について高い評価をいただきました。

- ① グループビジョン 2030 に掲げる「次世代循環型社会」の実現や中期経営計画に定
 める非財務目標の達成に向けて、社長をトップとする社内横断的な環境マネジメン
 ト体制のもとで顧客の環境価値の向上を意識した CSV 経営（※1）を実践している
 点
- ② CSV 経営の推進力を高めるべく、グループビジョンや環境目標等を浸透させる研
 修を通じて従業員の環境意識の涵養と主体的な行動変容を促すほか、長期的な事業
 戦略等をテーマとした定期的な経営層との対話機会を通じて、目指す姿の実現に向
 けて挑戦する風土醸成に着手している点
- ③ リース満了品の 3R（※2）システムを独自に構築して循環利用の促進に継続的に取
 り組むほか、事業シナジーの創出に向けて再生可能エネルギー事業の協業をはじめ、

グループ連携の強化を模索するなど、マテリアリティの一つに掲げる「脱炭素社会・循環型経済の推進」の実現を見据えた取り組みを始動している点

なお、DBJ と当社は、環境に配慮した事業経営を指向する企業の取り組みを協働で支援することを目的に、「環境対策を促進する事業に関する業務協力協定」を 2010 年に締結しております。

当社は、グループビジョン「次世代循環型社会をリードする Solution Company」のもと、環境と成長の好循環につながるサービスの提供により、次世代循環型社会の実現を目指しています。社会価値向上に資する事業の展開を使命と考え、持続可能な社会の構築を支援するビジネスの拡大を推進し、豊かな社会の実現に貢献してまいります。

以 上

- (※1) CSV：Creating Shared Value の頭文字を取ったもの。アメリカの経営学者マイケル・ポーターが 2006 年に提唱した経営戦略のフレームワーク。社会価値の創出（＝社会課題の解決）と経済利益活動を両立させること。
- (※2) 3R：廃棄物等の発生抑制（Reduce）、再使用（Reuse）、再生利用（Recycle）の頭文字をとったもの。資源の有効活用と廃棄物抑制を通して環境への負荷を軽減する取り組み。